

文系からのイノベーション -文系の専門性を企業価値に変えるには？-

講演概要

技術の高度化が進む一方で、企業が新たな価値を生み出すには、人間理解や文化、価値観、社会との接続といった視点ますます重要になっています。文系・人文系の知にそうした可能性を感じながらも、企業側はどこからどう始めればよいかかわらず、文系研究者側は自身の知をどう役立てればよいかかわらず、文理融合・異分野協働にはさまざまな壁が存在します。今回の特別講演会では、仏教学(インド・チベット・ブータン)およびボン教研究を専門としながら、仏教対話 AI「ブッダボット」の開発や「伝統知テック」「こころテック」の推進など、AI・起業・社会実装へと領域を広げてこられた熊谷誠慈先生をお招きし、人文学・文系の知が企業や社会とどのように接続しうなのか、また、文理融合や異分野協働を進める際にどのような発想や姿勢が求められるのかを、先生ご自身の実践をもとにお話しいたします。あわせて、文系博士人材と企業が出会い、相互理解を深めながら協働していくためのヒントについて、皆様とともに考える機会とできればと存じます。

日時 **5/27 (水) 15:45-16:45**

場所 **オンライン (Zoom) 開催**

参加費用 **無料**
※下記よりお申込みをお願いいたします

講師 **熊谷 誠慈 先生**
京都大学人と社会の未来研究院副院長・教授



1980年広島県生まれ。京都大学大学院博士課程修了、博士(文学)。専門は仏教学(インド・チベット・ブータン)およびボン教研究。京都大学白眉センター助教、京都女子大学発達教育学部専任講師、京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定准教授・同研究部門長を歴任し、2022年より京都大学人と社会の未来研究院准教授、2023年より教授。2025年より副研究院長。2018年にはウィーン大学ヌマタ教授を兼任。仏教最古の経典『スッタニパータ』を機械学習させた仏教対話 AI「ブッダボット」の開発や、株式会社テラバースの共同創業を通じ、伝統知と AI 等を融合した「伝統知テック」の開発・社会実装を推進。さらに、内閣府ムーンショット(目標9)のプログラムディレクターとして、「こころテック」の研究開発にも取り組むなど、人文学を基盤に異分野融合と社会実装を切り拓いている。

本セミナー参加ご希望の方は、下記 URL または右の QR コードより参加登録をお願いいたします。
前日(5/26)15時までに、セミナーへの参加 URL をメールにて送付いたします。

<https://forms.gle/AVbo1ybt963a6n7T7>

お問い合わせ先： C-ENGINE 事務局 ☒ contact@c-engine.org ☎ 075-746-6872



主催： 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)

<https://www.c-engine.org>



C-ENGINEは、産と学の交流を通してイノベーションを創出できる人材の育成を目指す
大学と企業のコンソーシアムとして、教育的研究インターンシップを推進・実施しています

C-ENGINE 研究インターンシップ

検索

